

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社ハピネット 上場取引所 東
 コード番号 7552 URL <https://www.happinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営本部長 (氏名) 柴田 亨 (TEL) 03-3847-0410
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	46,257	△2.1	575	△25.0	573	△23.9	137	△68.5
2019年3月期第1四半期	47,249	34.4	767	70.8	754	92.3	435	145.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 217百万円(△15.7%) 2019年3月期第1四半期 258百万円(△71.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	6.29	6.14
2019年3月期第1四半期	19.97	19.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	72,693	37,543	50.9
2019年3月期	74,923	37,983	49.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 37,014百万円 2019年3月期 37,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 設立50周年記念配当 10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	100,000	△4.4	1,700	△11.5	1,600	△13.6	800	△27.5	36.67
通期	240,000	△0.2	5,000	10.1	4,800	9.5	2,800	2.4	128.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	24,050,000株	2019年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,144,051株	2019年3月期	2,227,051株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	21,832,258株	2019年3月期1Q	21,805,612株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有している当社株式を含めておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2019年8月9日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの関連業界におきましては、玩具市場は少子化が進むなか、ターゲット層やジャンルの拡大により横ばいで推移しているものの、映像音楽市場、ビデオゲーム市場は配信やスマートフォン向けサービスの普及によるパッケージ市場の低迷などにより、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの経営成績につきましては、業績を牽引するようなヒット商品がなかったことや、物流費をはじめとする販売費及び一般管理費が増加したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。また、ハピネット設立50周年記念費用を特別損失に計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は462億5千7百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は5億7千5百万円(同25.0%減)、経常利益は5億7千3百万円(同23.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3千7百万円(同68.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①玩具事業

玩具事業につきましては、バンダイの「リュウソウジャー」やBANDAI SPIRITSの「一番くじ」関連商品、トレーディングカードで「ポケモンカードゲーム」関連商品などが好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。利益面においては、一部商品について在庫の評価損失を計上したことにより、前年同期と横ばいとなりました。

この結果、売上高は163億6千2百万円(前年同期比25.5%増)、セグメント利益は2億5千4百万円(同0.2%減)となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、嵐のベストアルバム「5×20 All the BEST!! 1999-2019」や、当社出資作品のアニメ「マナリアフレンズ」が好調に推移したものの、パッケージ市場全体が厳しい環境で推移したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

この結果、売上高は178億2千9百万円(前年同期比12.1%減)、セグメント利益は2億7千8百万円(同21.7%減)となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、「Nintendo Switch」関連商品は引き続き堅調に推移しているものの、携帯型ゲーム機のハード及びソフトが低調に推移したことや、当社独占流通のソフトでヒット商品がなかったことにより、売上高、利益面ともに好調であった前年同期を下回りました。

この結果、売上高は74億6千2百万円(前年同期比20.5%減)、セグメント利益は1千8百万円(同81.8%減)となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、イベント販売や新規ロケーションの開拓を推進したことによりカプセル玩具が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。利益面においてはカードゲーム機のアップデートに伴う費用が発生したことなどにより、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は46億1百万円(前年同期比1.6%増)、セグメント利益は3億3千万円(同9.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ22億2千9百万円減少し、726億9千3百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少37億9千4百万円、電子記録債権の減少16億1千2百万円、現金及び預金の増加8億8千4百万円及びたな卸資産の増加16億6千4百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ17億8千9百万円減少し、351億5千万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少11億8千2百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億4千万円減少し、375億4千3百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加1億3千7百万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少6億5千8百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,447	18,332
受取手形及び売掛金	27,305	23,511
電子記録債権	3,949	2,336
たな卸資産	7,062	8,726
その他	3,309	4,123
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	59,072	57,029
固定資産		
有形固定資産	810	789
無形固定資産		
のれん	524	490
その他	2,078	2,074
無形固定資産合計	2,602	2,564
投資その他の資産		
投資有価証券	7,358	7,341
その他	5,082	4,969
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	12,438	12,309
固定資産合計	15,850	15,664
資産合計	74,923	72,693
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,589	25,781
未払法人税等	1,254	71
賞与引当金	333	377
その他の引当金	62	66
その他	5,335	4,437
流動負債合計	32,575	30,734
固定負債		
株式給付引当金	51	50
退職給付に係る負債	3,091	3,125
その他	1,221	1,239
固定負債合計	4,364	4,415
負債合計	36,939	35,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,890	2,912
利益剰余金	32,077	31,556
自己株式	△1,964	△1,894
株主資本合計	35,754	35,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,608	1,690
繰延ヘッジ損益	△0	△2
その他の包括利益累計額合計	1,608	1,688
新株予約権	620	529
純資産合計	37,983	37,543
負債純資産合計	74,923	72,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	47,249	46,257
売上原価	41,815	40,760
売上総利益	5,433	5,496
販売費及び一般管理費	4,666	4,921
営業利益	767	575
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	60	74
その他	11	16
営業外収益合計	71	90
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	83	90
その他	0	1
営業外費用合計	84	91
経常利益	754	573
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除却損	0	1
50周年記念費用	-	280
特別損失合計	0	282
税金等調整前四半期純利益	754	291
法人税、住民税及び事業税	147	83
法人税等調整額	171	70
法人税等合計	318	153
四半期純利益	435	137
親会社株主に帰属する四半期純利益	435	137

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	435	137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△180	81
繰延ヘッジ損益	3	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△177	80
四半期包括利益	258	217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	258	217
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオ ゲーム事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,037	20,292	9,389	4,529	47,249	—	47,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,037	20,292	9,389	4,529	47,249	—	47,249
セグメント利益	254	355	102	362	1,075	△307	767

(注) 1. セグメント利益の調整額△307百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△307百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオ ゲーム事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,362	17,829	7,462	4,601	46,257	—	46,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	16,362	17,829	7,462	4,601	46,257	—	46,257
セグメント利益	254	278	18	330	881	△306	575

(注) 1. セグメント利益の調整額△306百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△306百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。